

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年2月26日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福岡県		代表者名	小川 洋
担当者部署	企画・地域振興部		連絡先電話番号	092-643-3229
担当者役職	主事	担当者氏名	宮原 由季	連絡先E-mail
住所	812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森本 登志男
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	行政や地域のDX推進の方法に関して、具体的なアドバイスをいただけため。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月25日	13時00分	14時10分		70
3-2. 派遣場所	会場名			最寄駅	
	所在地			最寄駅からの交通手段	
	派遣形態	フォローアップ(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	福岡県職員	7人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	新型コロナウイルス感染拡大により社会全体のデジタル化の遅れが指摘されるなか、行政もDXが求められており、職員の意識の変革が必要。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	福岡県職員のDX推進に対する意識向上を目指すセミナーを開催したが、時間の都合で質疑応答の時間が取れなかった。今回、セミナー中にはお聞きできなかった、個別の施策に関する支援を受け、今後の業務の参考としたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	行政DXの推進のためには、ツールの改善よりも庁内のルール作りの方が重要であること。また、地域DX推進のための計画に関する具体的なアドバイスもいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	今後の業務の参考とする。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> 途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	DX推進に関する具体的な施策は今後実施する。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 あくまでアドバイスをいただく場だったため	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	DXの実現	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

